

平成26年7月

なばり市議会だより

No. 73

市議会の動きをコンパクトにまとめてお伝えします。今号は 6月 9月 12月 3月 の定例会をクローズアップ

編集/議会広報特別委員会 発行/名張市議会 ●三重県名張市鴻之台1-1 ☎63-7834~5 ㊚64-8870 ✉gikai@city.nabari.mie.jp

これからも応援します! 山口 蛍選手



平成26年6月定例会 肉付け予算を審議

平成26年6月定例会(第360回)は、第16期議員にとって8月の任期満了を控えた最後の定例会となった。6月9日開会、6月25日閉会の17日間の日程で行われ、提出された議案は、条例制定2件、条例改正2件、一般議案2件、補正予算2件、専決処分にかかる報告2件、人事案件1件、意見書提出にかかる議員提出議案3件である。これらの議案は本会議・常任委員会で慎重に審議し、全14議案を可決した。一般質問は3日間行われ、9議員が登壇し市政全般にわたる質疑を行った。

補正予算

平成26年度は、市長改選に伴い、当初予算については、人件費や公債費などの義務的経費などからなる骨格予算であった。今回の補正予算では、政策的経費や新規経費など、肉付け予算を審議した。補正予算は、一般会計で14億8680万円の増額補正を行い、増額後の一般会計予算総額は263億7780万円。介護保険特別会計では200万円を増額し、補正後の予算総額は59億5980万円となった。



6月9日の定例会開会前に、サッカーW杯ブラジル大会に日本代表として出場した、本市出身の山口 蛍選手の活躍を願い、議場からエールを送りました。

残念ながら決勝トーナメント進出には至りませんでした。山口選手は全ての試合に出場し、主力選手として素晴らしい活躍をされ、私たちに勇気と感動を与えてくれました。

この大舞台での活躍を糧として、4年後のワールドカップを目指し、今後ますますご活躍されますことを心から祈念します。

名張市議会



第16期名張市議会議員

Q&A

9議員の質問と、市長などの答弁をご紹介します(一部抜粋)。
掲載内容は議員から提出された原文を尊重して、編集しています。

一般質問

● 教育・文化

日本共産党
橋本 マサ子 議員

Q 通学費に全額補助を

小中学校の通学バスの費用が、一部自己負担となっている。「義務教育は無償」であり、通学費用は全額補助すべきだ。4月から3小学校が統廃合になった。議会でも多くの議論があり、地域の人は苦渋の選択をした。教育委員会から、統廃合により削減となる経費は「教育の充実のために使う」との説明がされている。安心して学校に通えるように保護者負担を解消せよ。



A その方向で努力する

3校の閉校による人件費と施設維持管理費などの削減額は、約6200万円だ。小中学校の市からの通学補助金は約2200万円、保護者負担は約880万円だ。無料にする方向で努力したい。

公明党

細矢 一宏 議員

Q 中学校の通学路点検

全国で通学途中での事故が多発したことにより、小学校においては通学路の合同点検が平成24年に行われた。中学校では行わないのか。25年に自転車の交通ルールも改正され、指定通学路の変更や通学路の危険箇所の改善が保護者から望まれている。事故が起こってからでは遅い。早急に中学校の通学路についても合同点検が必要だ。加えて、小中学校の通学路合同点検を定期的に行う必要があるが、市として考えは。

A 関係機関と協議検討

中学校の通学路合同点検および小中学校における通学路の定期的な合同点検については、学校・PTAをはじめ、各関係機関と協議し検討する。



心風会

森脇 和徳 議員

Q 旧市民会館の利活用

桜ヶ丘区にある旧市民会館は、老朽化が著しく劣悪な状況だ。文教エリアとして、相応しい施設や建物が必要と考える。桜ヶ丘区の集議所としても使用されており、区民からも建物の維持管理についての要望が幾度となく出ている。どのように考えているのか。



A 引き続き推進を図る

築40年以上が経過しており、耐震も含めて建物や施設の劣化についても深刻な状況であることは把握している。文教エリアに相応しい施設整備が必要であることは認識し、検討している。

● 医療

みらい

幸松 孝太郎 議員

Q 救急搬送の改善策は

平成25年度の輪番制における3病院の平均受け入れ率は96%である。救急車による救急搬送をスムーズにするためにe・MATCHシステム(※1)を導入すると聞いているが、市民の命を守るためには、早期の導入が求められる。いつごろになる予定か。

A 救急車に端末を導入

県のモデル事業で、救急搬送において、すべての救急車、消防本部、病院にタブレット端末を配備し、受け入れ可能な病院を検索できるe・MATCHシステムを導入する。これにより、救急搬送において、これまで以上に迅速化が図れ、受け入れ率改善のメリットがある。26年度秋から使い始めるが、検証後、次年度以降本格的な取組みとして検討していきたい。



清風クラブ

森岡 秀之 議員

Q 市民が望む病院運営

市立病院の医師数が過去最多の41人となっている。名張市民が望む24時間365日の二次救急受け入れが実施される可能性は。



A 救急輪番体制の維持

以前の名張市民を中心とした救急とは違い、伊賀市民や奈良県民の救急患者を受け入れる必要がある。医師数が増えたからといって、直ちに24時間365日の二次救急を再開することは、現在の200床というベッド数では限界がある。入院ベッドの増床、財政面での課題など、市立病院の機能と体制について総合的に検討していかなければならない。

※1 e・MATCHシステム…救急隊が適切な搬送先医療機関を選定する際にタブレット端末などを用いた情報連携による支援体制。患者の症状や重症度、周辺病院の混雑状況などの情報を得ることで医療機関到着までの時間短縮や、適切な治療を早期に受けることができる。

産業・建設

清風クラブ
福田 博行 議員



Q 名酒で乾杯する日を

名張市議会における議員提案による政策条例は、三つある。その中で「伊賀名張の酒・名酒で乾杯を推進する条例」は、行政のみならず市民、関係機関、議会が連携して推進していかねばならない。酒造場、酒販組合、商工会議所、関係団体と連携し、行政も加わり「名酒で乾杯する日」を作ってはいかがか。



A 行政も協力する

条例のおかげで地酒の消費が伸びていると聞いている。条例の目的である乾杯の習慣を広め、酒造場などの関連産業の発展や郷土愛の醸成を図る取組みの一つでもある。行政としても協力を惜しまない。

無会派
高田 稔嗣 議員



Q 廃屋の撤去を

まちなかの家屋の一部には傷みが激しく、近隣住民が不快感を持ちながら暮らしている所が見られる。痛みの激しい家屋に隣接して暮らす人たちの思いは悲壮だ。現状のまま朽ちるまで放置させるのであれば、まちなか全体に負の連鎖が起きるのではないか。厳しい課題もあるが、強い行政対応が必要と考える。

A 法令を研究検討

空き家対策は、全国的にも大きな問題となっており、国においても解決に向けた法整備の動きが見られる。法的な瑕疵がないよう慎重に行う必要がある、関係法令などの整備状況を見ながら対応策を検討したい。



清風クラブ
吉田 正己 議員



Q 上笠間八幡名張線は

伊賀南部浄化センターは、平成12年3月31日に伊賀南部環境衛生組合と薦原地区区長会とで協定書を締結した。操業期間は12年度から26年度までの15年間とし、薦原地区内公共事業推進計画書が市長より提出された。現在、主な残事業は県道上笠間八幡名張線である。早期の完成を望むがいかがか。

A 10年以内をめどに

伊賀南部浄化センター操業対策委員会の意見、要望を重く受け止め、事業期間を短縮し、10年以内となるよう国・県に強く要望する。



県道上笠間八幡名張線 (薦原橋付近)

心風会
永岡 禎 議員

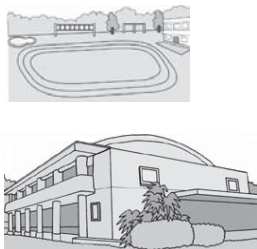


Q PFIの活用

市が直面している課題や施設の維持管理・更新費に、PFI(※2)を活用してはどうか。これから建て替えを迎える体育施設や待機児童対策のための保育所の増築、特に市長の公約である中学校給食の実施に向けた施設整備に活用すべきだ。そのためにも早急にPFI活用準備部を作るべきである。

A 研究・検討する

これから迎える各施設の更新費をPFI事業で補っていくことも有効な手段である。早急にPFIについて研究・検討していく。中学校給食の施設整備についても、庁内で準備委員会を立ち上げ、方法などを早急に検討する。



Q & A

その他質問

心風会
柳生 大輔 議員



Q 補正後の予算総額

一般会計における肉付け予算である今回の補正予算額は、14億8680万円追加し総額263億7780万円となる。昨年度6月補正時と比べると10.7%増となった。財政的に山場を越えたとはいえず、少し多いのではないか。

A 国の財源で事業展開

国のモデル事業としてそれぞれの事業が採択されている。それらを予算化しているのが一般財源としては伸びていない。今後も国のモデル事業の活用や提案を行い、事業展開を図りたい。

日本共産党
三原 淳子 議員



Q 安定雇用の促進を

伊賀・名張管内の求人は増えたものの、正社員での募集は23%で、多くが非正規雇用だ。市民の生活、社会保障、経済の発展のためにも、安定雇用と賃上げが重要である。正社員での雇用促進と労働環境の改善にむけ、市の取組みを強めよ。

A 地場産業で継続雇用

国の補助事業である、地場産業促進・人材育成事業などに取り組み、企業起こしや地場産業の発展で、継続雇用につなげていく。ハローワークとの連携を図り、情報を共有し労働環境の改善に努める。

※2 PFI (Private Finance Initiative) …公共施設などの建設や維持管理などを民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法



議会の日程

※予定を変更する場合があります。
開会時間は午前10時からです。ぜひ、傍聴にお越しください。
全ての本会議(委員会を除く)がCATVで生中継されます。

9月19日 金	開会	2日 日	決算特別委員会(一般・特別会計)
25日 木	一般質問	3日 金	決算特別委員会(企業会計)
26日 金	一般質問	6日 月	総務企画委員会
29日 月	一般質問	7日 火	教育民生委員会
30日 火	補正予算	8日 水	産業建設委員会
10月1日 水	決算	14日 火	採決

A 女性の視点に配慮

男女共同参画の視点を含め、それぞれの地域の避難所で活用できるマニュアルの見直しがほぼ完了した。紙媒体だけでなく、CDを作成し各地域、関係者に配布する。8月には新しいマニュアルに沿った事前訓練を実施する予定だ。

Q 避難所運営

平成25年11月、市議会女性議員でまとめた「女性の視点に配慮した防災対策」の提言書を市長に提出した。避難所運営マニュアルの見直しをするとの回答だったが、その進捗状況を問う。

吉住 美智子 議員



第360回定例会 審議結果

全会一致 議案

専決処分した事件(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)の承認、専決処分した事件(仲裁の申立て)の承認、健康づくり推進協議会設置条例の制定、歯と口腔の健康づくり推進条例の制定、火災予防条例の一部改正、美旗小学校屋内運動場耐震補強及び改修工事(建築・機械設備)請負契約の締結、平成26年度介護保険特別会計補正予算(第1号)、桔梗が丘東小学校管理特別普通教室棟及び屋内運動場耐震補強工事(建築・機械設備)請負契約の締結、人権擁護委員の推薦、食の安全・安心の確立を求める意見書の提出、「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書の提出、安心して働き続けることができる労働環境の整備を求める意見書の提出

表決が分かれた 議案

市税条例等の一部改正、平成26年度一般会計補正予算(第2号)

会派	無党派	みらい	日本共産党	公明党	心風会	清風クラブ
議員名	高田 幸松	川合 三原	橋本 富田	細矢 吉住	豊岡 森脇	永岡 柳生
	○	○	×	○	○	○

※議長は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員

農業委員改選で議会から女性3人を農業委員に推薦決定

- 高波 和枝さん(美旗中村)
- 寺嶋 節子さん(朝日町)
- 関 りょう子さん(大屋戸)

請願

- 「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書の提出を求める請願…採択
- 安心して働き続けることができる労働環境の整備を求める意見書の提出を求める請願…採択
- 集团的自衛権に関する憲法解釈の変更をしないよう国に求める請願…継続審査

議員の表彰

15年以上市議会議員の職にあるものとして、全国および東海市議会議長会会長から表彰を受けました。
永岡 禎 議員 川合 滋 議員 福田 博行 議員

編集後記



「なばり市議会だより」の編集を行ってきた議会広報特別委員会(左から)豊岡委員、森脇委員、吉田副委員長、幸松委員長、細矢委員、三原委員

幸松 孝太郎 委員長

委員の皆さんに支えられ、読みやすく、分かりやすくを目標に紙面刷新が実現できたことは、委員長としてやりがいがありました。

吉田 正己 副委員長

4年間、市民の皆さんが読みやすい紙面づくりに努めてまいりました。今後とも、なばり市議会だよりをよろしくお願ひします。

豊岡 千代子 委員

多くの市民の皆さんに読んでいただけるよう、親しみやすい広報を目指して取り組みました。

森脇 和徳 委員

前回に続き、市民の皆さんに分かりやすく議会の動きをお伝えできるよう努めてまいりました。4年間ありがとうございました。

細矢 一宏 委員

より透明性の高い議会を目指し、正確で分かりやすい紙面づくりに努めてまいりました。

三原 淳子 委員

市民にとって、より身近な議会に感じていただくため、読みやすく、正確に議会の様子を伝えることを心掛けました。

議会改革 NOW

議会報告会実施決定

議会改革推進会議(福田博行委員長)は6月9日、「検討結果報告書」を石井政議長に提出した。

報告書には、議会の活動や審議内容を報告するため、改選後から実施予定の議会報告会についても明記している。

名張市議会は今これまで、常任委員会や議員と各種団体との懇談会を随時開催し、フェイスブックの開設、議会広報の刷新、本会議のインターネット配信など、審議や広報聴機能の改革を進め、本年3月定例会からは、論点の明確化などを図るために、行政側に「反問権」も認めた。

今回提出の報告書では、議会・議員の仕事や役割を明確にし、政策立案や監視機能などの議会機能を強化するとともに、議会広報のさらなる充実・活用についても示している。



◎「なばり市議会だより」へのご意見は、議会事務局(☎63・7834)へ